

「心の豊かさ」と仕合わせな暮らしを提供したい」

一休さんのはなおか(長野)

一休さんのはなおかは、現在、長野県内に仏壇仏具店を六店舗(若槻店・長野店・川中島店・千曲店・上田店・佐久店)、公園墓地のエンゼルパーク(上田市)を展開。

その地域に定着し、老若男女を問わず親しまれている。今回、取材に御協力頂いたのは、同社代表取締役の花岡宏樹氏。社長に就任したのは今から八年前、二代目のオーナーとして日々多忙な業

務をこなす。一休さんキャラクターについては、テレビ・ラジオCMをはじめ、名刺、新聞チラシに活用、展示されている商品も一休さんのイラストの入った値札を付けている。

「はじめて来店されたお客様も一休さんの人形やイラストを見て親しみを感じていただけるといい」と花岡氏は一休さんの効果を説明する。

が「ありがとう」とお客様に言うことは当たり前だが、お客様がこんなに感謝、感動され、涙を流して喜ばれたことは一度もない。本当に喜んでいただける素晴らしい仕事なんだ」と思った。時が過ぎ、そのおばあちゃんが他界され、おばあちゃんが着ていた着物の布切れを一枚、形見に分けていただいたという。この話は創業物語「一枚の布切れ」という題名の小冊子に掲載されており、現在でも、脈々と語り継がれている。

仏壇の販売は一人のお客様の感謝の言葉からはじまった

創業者であり父にあたる花岡久二氏(現会長)は、昭和三十八年に家具の販売店「花岡家具センター」をオープン、その後、家具業界の仲間から「これからは仏壇も置いたらどうか」というアドバイスを受け、店内にわずかではあるが、仏壇を展示した。ある日、地元のおばあちゃんが来店され、亡くなったご主人の供養のために、お仏壇

を購入された。法要が終わった後、久二氏がおばあちゃんに挨拶に行った時、「あんしゃん、ありがとよ。おかげでじいちゃんの供養が立派にできましたよ。私が、じいちゃんに出来ることはしっかり供養してあげることだからね。本当にいい供養ができたよ」とおばあちゃんに涙を流しながら手を握り話してくれた、そのとき久二氏は「なん

てやりがいのある素晴らしい仕事なんだ。私たちが

◎一休さんのはなおか・本部 長野県長野市川中島町原四六三一六 TEL〇二六(二八三)六三〇〇 FAX〇二六(二八三)五一〇〇



一休さんのはなおか 花岡宏樹社長



一休さんのはなおか・川中島店



店内風景 一休さんのはなおか・川中島店